

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	■■■■■			34
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ		■■■■■		53
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ		■■■■■		69
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ		■■■■■		45
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ		■■■■■		57
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ		■■■■■		67
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向		■■■■■		49
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向		■■■■■		50
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向		■■■■■		70
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	■■■■■			47

この人の中心性格は「自制・慎重性」および「活動・身体性」であるが、「努力・規則性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

「自制・慎重性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ  
 落ち着いた雰囲気もあり、何事もハッキリとした見通しがつくまで動かないという慎重さがみられます。また、周囲からの評価の是非も気になるほうで、斬新なアイデアがあってもなかなか表に出すことはできません。自分の物差しの中でできる範囲内のことを限定して表現してしまう傾向があるようです。また、問題がおこると、絶対に無理だとあっさり流してしまうときや、いつまでもクヨクヨと悩んでしまうときがあり、必要以上に責任を感じるということが目につきます。慎重さや手堅さは評価できるのですが、もう少し失敗を恐れない図太さがあると良さそうなものです。調子に乗っているときは、思い立ったことを素早く実行することもあり、環境の変化にも柔軟に対応していくことができます。発想も感覚的で、ユニークさを感じられますが、堅実で筋道をたてた理詰めの考え方もできます。ゆとりを持って物事にのぞめば、安定した状態を保つことができ、自分なりのペースで動くことができます。そうすれば、リーダーとして活躍できる人物です。

もう一方の性格特性  
 内にこもったところはなく、外向的な人といえます。関心は常に社会的な出来事に向かい、職場の雰囲気などにも気を使う、気配りのできる人です。自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというものは程遠いところにいます。ただ、夢や空想、芸術的な生き方には興味がなく、ワビ・サビという部分は見られません。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。  
 まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。外見的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。  
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。  
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	普通	強	指数
積極性・活発度	■■■■■			62
周囲との協調性		■■■■■		54
責任感・一貫性		■■■■■		55
自分への信頼度		■■■■■		55
指導・指示傾向		■■■■■		53
仲間との共感性		■■■■■		53
感情の安定度合		■■■■■		57
他者への従順性		■■■■■		49
自ら進んで実行		■■■■■		47
社会的自我確立	■■■■■			42

「積極性・活発度」について  
 積極性・活発度とは、他人から指示を受けてからではなく、自らが率先して物事に取り組みようとする姿勢のことです。これは業務への前向きな行動、率先的な意見の提案力として表に出ます。この傾向が強い場合は、ひとりで先走ってしまうことがあり、時に周囲とのすれ違いなどを感じてしまう  
 一度、決心すると人の意見などはあまり参考にせず、自分の考えだけで実行に移してしまう  
 といった行動になりがちですので、自己を再確認してみましょう。自らの考えや判断だけで行動するのはなく周囲の状況や様子を見渡すように心がけ、おかれている立場を理解すれば積極的な側面がいきます。

「社会的自我確立」について  
 社会的自我確立とは、今の自分のおかれた環境や現実に対する自己の内面的な満足度を表しています。本来思い描いている自分のあるべき姿と現状に差があるときなどにこの指数は下がります。この傾向が低い場合は何らかの悩みを抱え、どうするべきなのか、結論が出せず、いろいろと決心がつかないでいる  
 自分らしい生き方の方向性を模索中だが、果たしてどれが正しいのかが見えないでいる  
 といったことが考えられます。まずは、いま抱えている悩みや問題、周囲の状況をできるだけ正確に把握し、次に自分が求めている事は何で、今後どうしていきたいのかなどを合わせて分析してみることが先決です。

3 心理イメージ

心理イメージをイラストであらわすと

慎重な性格 細面の顔  
 他人の忠告を適度に聞き入れる まっすぐな眉  
 状況によって指示的行動 普通の眉  
 ヤル気あふれている 大きな瞳  
 新しいものにそれほど飛びつかない まっすぐな目  
 目立ちたがり屋ではない 普通の鼻  
 人との関係にこだわらない まっすぐな口

となり、右のような顔ができあがります。

